



武蔵野市議会議員

ゆ み こ

市議会
レポート

きくち由美子

<連絡先> 〒180-0012 武蔵野市緑町2-2-28 市役所7階 自由民主・市民クラブ控室
 自宅TEL 0422-52-6058 (留守番電話) FAX 0422-53-6489
 E-mail: yumiko-k@dance.ocn.ne.jp

日頃の活動はこちら▶



Ameba

Facebook

武蔵野市 小美濃安弘 新市長誕生!!

自民・公明が推薦した前市議会議員無所属新人の小美濃安弘さんが
 立憲民主・共産・れいわ新選組・社民・武蔵野生活者ネットが支持する前市議会
 議員無所属新人 笹岡裕子さんを破り、**339票差で当選いたしました。**

届出番号・立候補者氏名	確定得票数
1 オミノ安弘 61歳(無所属)	27,024 票
2 笹岡ゆうこ 37歳(無所属)	26,685 票
合 計	53,709 票
投 票 者 数	54,523 人
当日有権者数	12 万 1,777 人
投 票 率	44.77%



私たち自民・市民クラブ会派、公明党会派の
 市議会議員全員が全力で応援いたしました！

「市立小・中学校給食費の無償化」令和6年度中の実施を目指します!!

私は、昨年4月の市議会議員選挙で「市立小・中学校給食費の無償化」を公約の第一に掲げ、当選させていただきました。私たち夫婦も3人の子育ての中で、教育費負担が重く大変でした。学校給食はまさに教育の一環です。令和5年度は、学年により子ども一人当たりの年間給食費(食材費)は、51,480円～66,640円の保護者負担となっています。

厚生労働省は、2月27日昨年の国内の出生数が過去最少の75万8,631人だったと発表しました。過去最少の更新は8年連続となります。少子化対策にも子育て費用の軽減が大切です。

松下前市長に対し、一般質問で「市立小・中学校給食費の無償化」を求めてまいりましたが、前市長は第六期長期計画・調整計画の中で議論するとのみ答え、消極的でした。

都内23区のほとんどの自治体、及び多摩地域でも、三鷹市・西東京市など多くの自治体がすでに、

あるいは新年度から公立の小・中学校給食費無償化を実施と報道されています。

小美濃市長は、「市立小・中学校給食費無償化」に前向きです。今年1月30日市役所総合政策部より「給食費無償化に関する庁内検討調整会議の設置」についての文章が配布されましたが、その中で、「令和6年度中の実施を目指し、検討及び調整を行う」と書かれています。

本市は、東京都の補助スキームを慎重に検討し、市立小・中学校給食費無償化を令和6年度中に実現する予定となりました。

さらに、私 きくち由美子は、
 私立等に通学の小・中学校の
 お子さんをお持ちの全
 家庭に対しての支援も
 強く要望してまいります。



「武蔵野市の災害対策の現状と今後」 自治と自主防災組織の連携と災害対策について

平成10年に「自分の命、まちは自分たちで守る」災害に強いまちづくりを推進することを目的とする「武蔵野市自主防災組織に関する要綱」を制定。令和5年6月1日時点で78団体の自主防災組織、13団体の避難所運営組織が設立されました。

市民自らが自宅の耐震化や家具の転倒・移動・落下防止、在宅避難に向けた水・食料、生活用品を備える日常備蓄の実施を推進するとともに、災害時において避難所に避難しなくても自宅で生活が継続できる「在宅避難」や「分散避難」の仕組みづくりを推進しています。

また、女性の視点等を意識した避難所運営など重要性が再認識されました。

小美濃市長は家具転倒防止金具を全世帯に設置することを公約にしています。



問 賞味期限が近づいた非常食はどうしていますか。
答 賞味期限1年以内でイベント等で配布またはフードバンクへ寄付しています。

問 防災訓練の多様な市民の参加促進について、また市民へ防災意識を根付かせる取り組みについて

答 各地域の自主防災組織主催のイベントで色々な世代の参加により防災についての周知を図ります。令和6年度は「水防訓練」と多くの市民参加が多い武蔵野中央公園「防災フェスタむさしの」との合同訓練を予定しています。情報発信手段としてYouTubeなどSNSで多くの市民への周知を研究します。

問 福祉避難所、災害時地域支え合いステーション（コミセン）の運営について

答 高齢者や障がい者等特別配慮やケアを必要とする災害時要援護者を対象とした避難所（高齢者施設17ヶ所、障がい者施設4ヶ所）、建物の安全確認がとれ、人員体制が整ったコミセンで避難所として運営します。ただしまずは一時集合場所（市立小・中学校、都立高校）へ行ってください。

問 外国人への防災支援について

答 （公財）武蔵野市国際交流協会（MIA）と協定を結び外国語のボランティアにより支援、防災訓練への参加啓発、やさしい言葉の防災に関するパンフレットを作成する。

きくち由美子 活動報告（抜粋）



厚生委員会視察 奈良県生駒市 10月
「介護予防、健康長寿の取り組みについて」生駒市は「自治体30」をベースに、その人らしい生活を支える数々の工夫を展開しています。まちづくりを行政だけで担おうとせず、民間事業者や市民など多くのプレイヤーとともに進めています。武蔵野市も見習うべき工夫がたくさんありました。



子育てひろば 「みずきっこ」8月

私がスタッフをしていた「みずきっこ」へ埼玉へ転居した常連だった親子さんが久しぶりに会いにきてくださいました。



能登半島地震

被災者支援募金活動（吉祥寺駅にて）1月

たくさんの方々から募金を頂戴致しました。皆さまの温かな心を被災された方へ、全額日本赤十字社を通じて寄付させていただきます。一日も早い復興をお祈りします。



節分祭 2月

2月3日武蔵野八幡宮及び関前八幡神社の「節分祭」に参加しました。たくさんの方が境内で奉仕者（豆をまく人）からの豆を受け取っていました。皆さまにより春が訪れますように。



自転車防犯パトロール 毎月

毎月1回地域の方々と自転車防犯パトロールをしています。この日は八幡町、緑町、吉祥寺北町をパトロールしました。伏見通りは交通量が増えています。歩道は自転車の通行量が多く小学生の通学時間と重なるときは注意が必要です。



敬老福祉の集い 10月

市議会厚生委員として式典に出席しました。昨年迄は、日赤奉仕団として長年皆さまのお出迎えをしていました。今年100歳になられた方は市内に63人だそうです。明るい長寿社会をしっかりと築いてまいります。



東京電力廃炉資料館

福島第一原子力発電所視察 11月

土屋正忠 元代議士を中心に有志の市議会議員とともに2011.3.11地震後、水蒸気爆発で破壊されたテレビ映像で見た1号機の建屋を当局の許可を得て実際に見ました。解体するにも放射性物質を分散させないために建屋全体をカバーで覆うための外壁の鉄骨の組立をしていました。建屋まで数十メートルの所まで防護服や靴カバーなしで見学できるようになりましたが、現場付近では一日にCT検査を2回受けるほどの大量な被爆量だそうです。国内外の英知の結集と努力を継続させて、この事故の教訓を後世へ正しく伝え、安心して暮らせるようになって欲しいです。



安曇野市 7月 表敬訪問

あづみ野祭りへ参加致しました。これからも友好都市としてお互いに発展していくことを願います。



武蔵野市 11月 農産物品評会

野菜の宝船を展示。今年は猛暑のため農家さんは大変ご苦労されたことを知りました。



関前八幡神社秋季大祭 9月

9月3日関前八幡神社でお神輿の担ぎ手の皆さんが勢揃い。元齋藤健法務大臣秘書官の福田かおるさんも担ぎ手として参加！